

## 令和8年度 第5回大分県中学生春季柔道大会（団体） 要項

- 1, 名 称 第5回大分県中学生春季柔道大会
- 2, 主 催 大分県柔道連盟
- 3, 主 管 大分県柔道連盟中学部
- 4, 期 日 令和8年4月29日（水）
- 5, 日 程 4月29日（団体戦）
- |         |            |
|---------|------------|
| 受 付     | 8:30～      |
| 計 量     | 8:45～ 9:05 |
| 審判・監督会議 | 9:15～ 9:35 |
| 開 始 式   | 9:40～      |
| 試合開始    | 9:50～      |
| 表 彰     | 試合終了後      |
- 6, 会 場 クラサス武道スポーツセンター 道場2, 3
- 7, 参加資格
- (1) 参加選手は、中学1・2・3年生で、校長・地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の代表者が参加を認めた者。保護者の了承を得ている者とする。また、半年以上の修行経験を有する者とする。
  - (2) 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加については、R8「県中学校体育連盟主催大会に参加を希望する地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の条件」を具備すること。  
併せてR8大分県中学校体育連盟地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加資格の特例競技部細則の条件を満たしていること。  
※詳しくは 大分県中体連ホームページ → 地域スポーツ団体等参加に係るページを参照。
  - (3) 監督及びコーチは、出場チームの教職員・地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の指導者とする。学校部活動の場合、コーチは、大分県中学校体育連盟に登録した外部指導者に限る。  
※コーチは、審判を必ず行う。
  - (4) 学校部活動の場合、監督は全日本柔道連盟公認指導者資格（学校顧問特例資格を含む）を有する者とする。  
地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の場合、監督・コーチ両名とも全日本柔道連盟公認指導者資格を有する者とする。
  - (5) 参加者は、R8年度全日本柔道連盟に登録した者に限る。
- 8, チーム編成
- (1) 団体戦
    - ① 選手・監督・コーチは各中学校単位・地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）単位とする。  
地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加資格については、R8全日本柔道連盟登録とR8「県中学校体育連盟主催大会に参加を希望する地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の条件」を具備すること。  
R8「大分県中学校体育連盟地域クラブ活動の参加資格の特例 競技部細則」の条件を満たしている者。

- ② 男子は監督とコーチ各1名・選手5名・補員2名、女子は監督とコーチ1名・選手3名・補員1名のチーム編成とする。(満たない時は、男子3名・女子2名より可)
- ③ オーダーは、最も体重の重いものを大将とし、以下体重順に編成する。

## 9, 競技方法

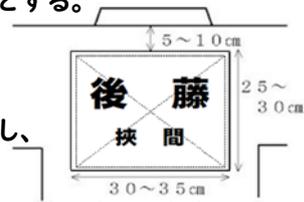
### (1) 団体戦

- ① 男女共参加チーム数によりパート数を決め、予選リーグ(3チームリーグを基本)を行い各パート上位2チームにより決勝トーナメント戦を行う。(参加チーム数によって変更有)  
※予選同パートは決勝トーナメント1回戦で対戦しないようにする。
- ② 予選リーグの順位は、次の方法により決定する。
  - (a) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - (b) (a)において同等の場合は、勝ち数の合計による。
  - (c) (b)において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - (d) (c)において同等の場合は、負け数の合計による。
  - (e) (d)において同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - (f) (e)において同等の場合は、1名による代表戦(任意の選手)で決定する。
- ③ 決勝トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
  - (a) チーム間における勝ち数の合計による。
  - (b) (a)において同等の場合は、勝ちの内容による。
  - (c) (b)において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

## 10, 競技規則

- (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」及び国内における「少年大会特別規定」による。  
※第54回全国中学校柔道大会申し合わせ事項(団体戦予選リーグの内容が同等の場合の決勝トーナメント出場チーム決定方法、代表戦について)を導入する。
- (2) 勝敗の判定基準は、「一本」「技有」「有効」または「僅差(指導の差2以上)」とする。
- (3) 団体戦(決勝トーナメント)の代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。
- (4) 優劣の成り立ちは、以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」

- (5) 試合時間は、3分間とする。代表戦の延長戦は無制限とする。
  - (6) 柔道衣にゼッケン(チーム名・名字入り)を次の要領で縫い付けて出場すること。  
(書体は太字ゴシック体とする。明朝または楷書でもよい。)
- ① 布地は白とし、サイズは、横30~35cm、縦25~30cmとする。
  - ② 名字(姓)は上側2/3、チーム名は下側1/3とする。
  - ③ 男子は黒色、女子は濃い赤色とし、はっきりと記名する。
  - ④ 縫い付ける場所は、後襟の下から5cm~10cm下部の位置とし、周囲と対角線を強い糸で縫い付けること。
- (7) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖でTシャツまたは半袖レオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングについては、全柔連が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
  - (8) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーターを着用して受けること。

## 11, 組み合わせ

令和7年度大分県中学校新人柔道大会の結果を参考にして決定する。

## 12, 参加費

団体戦 男子 4,000円 女子3,000円 保険料含む(当日受付で徴収)

### 13, 申し込み

- (1) 申込書に必要事項を記入し、メールで申し込むこと。  
その後、押印したものを郵送（男子は様式1、女子は様式2）  
令和8年4月17日(金) 17時まで必着。  
**※郵送も4月17日(金)17時まで必着。**

### (2) 申込先・問い合わせ

〒879-5502 由布市挾間町向原 440 挾間中学校内  
後藤 義治 Tel.090-2511-9127 Mail: gotou-yoshiharu@oen.ed.jp

### 14, その他

- (1) 団体戦出場選手は計量を行う。
- (2) 柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（IJF：赤枠 全柔連：赤番号）  
※柔道衣コントロールで合格しなかった選手は、出場を認めない。  
**※1年生の柔道衣・ゼッケンについて前所属のものでも出場可（新しい柔道衣が間に合わない場合）とします。ただし柔道衣の規格（サイズ）については規定どおりでお願いします。**
- (3) 申し込み後の団体戦の選手変更は、大会前日（28日・火）の正午（12時）までとする。
- (4) 要項や申し込みについて不明な点は、申し込み担当まで連絡をお願いします。
- (5) 脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。
  - ①大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- (6) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (7) 全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を採用する。